

連携ノート



名前

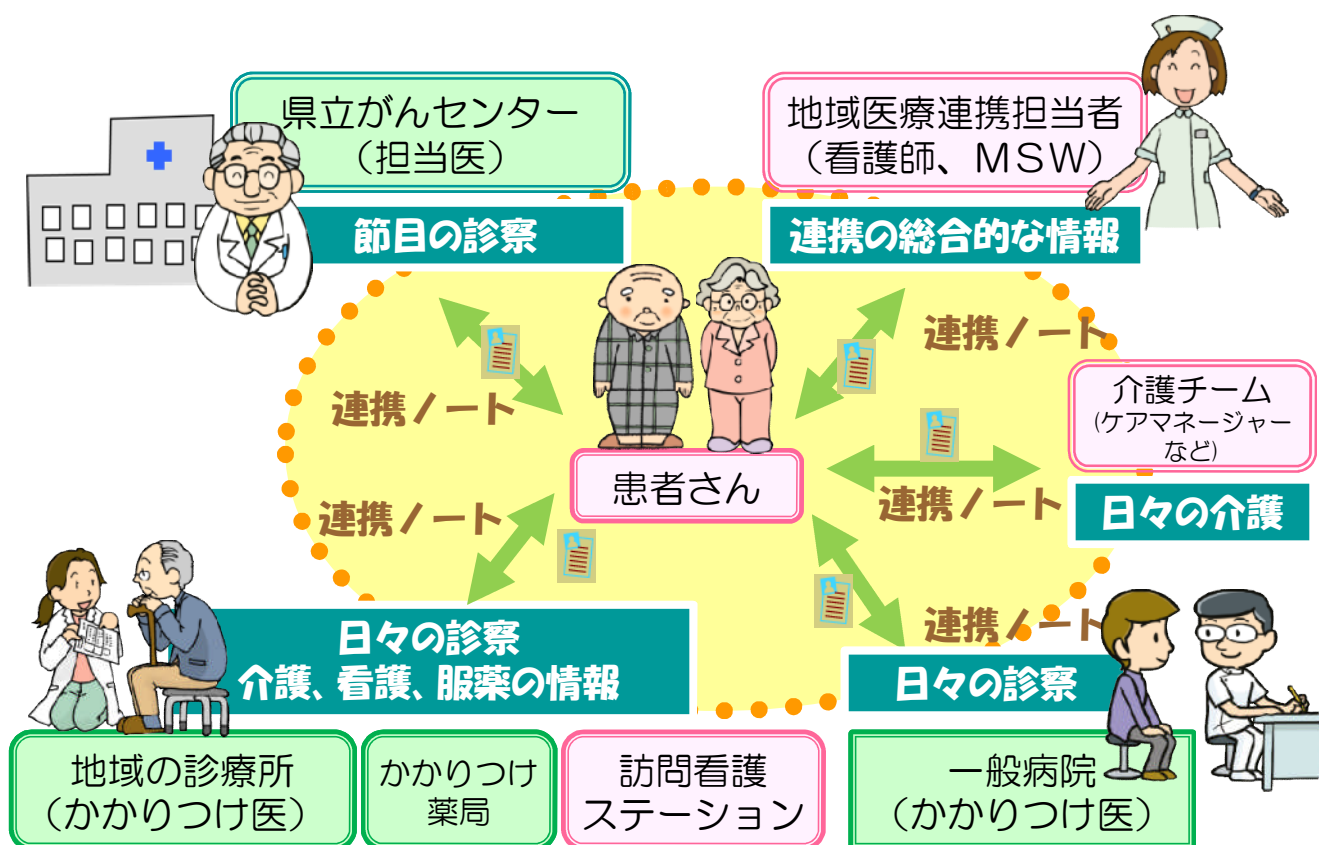
がん診療連携拠点病院
兵庫県立がんセンター

胃がん術後地域連携パス もくじ

地域連携パスとは	P 1
私の診療情報	P 2
決定した連携機関の一覧	P 3
手術について	P 4
術後治療について	P 5
胃がんの進行度	P 6
術後治療・検査の要約	P 7
胃がん治療に関する連携計画書	
ステージⅠA	P 8
ステージⅠB	P10
ステージⅡ～Ⅲ	P12
術後検査結果（CT）	P14
術後検査結果（胃内視鏡）	P15
血液検査の説明	P16
後遺症、合併症の説明	P17
患者さん用メモ	P19
連携ノートの使い方	P21

地域連携パスとは

地域連携パスとは、地域のかかりつけ医と兵庫県立がんセンターの医師が、あなたの治療経過を共有できる「地域連携計画書」のことです。「連携パス」を活用して、かかりつけ医と兵庫県立がんセンターの医師が協力してあなたの治療を行います。



この「連携パス」を活用することで、地域のかかりつけ医と兵庫県立がんセンターが協力し、患者さんの視点に立って安心して質の高い医療を提供する体制をつくることを目指していきます。

私の診療情報


記載日 年 月 日

名 前
生年月日 T・S・H 年 月 日
住 所
電 話
緊急連絡先電話番号
血液型 型 身長 cm 体重 kg
アレルギー・今までにかかった病気 <input type="checkbox"/> アレルギー性疾患 () <input type="checkbox"/> 心臓の病気 () <input type="checkbox"/> 腎臓の病気 () <input type="checkbox"/> 肝臓の病気 () <input type="checkbox"/> 消化器の病気 () <input type="checkbox"/> その他 ()
介護情報について

決定した連携医療機関の一覧

<p>かかりつけ医</p> <p>(電話 — —)</p>
<p>調剤薬局</p> <p>(電話 — —)</p>
<p>訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所等</p> <p>(電話 — —)</p>
<p>連携病院</p> <p>(電話 — —)</p>
<p>兵庫県立がんセンター 担当医 ()</p> <p>(電話： 078-929-1151 地域医療連携室)</p>
<p>担当医療機関</p> <p>手術：</p> <p>抗がん剤：</p> <p>C T：</p> <p>胃内視鏡：</p> <p>採血：</p> <p>投薬：</p>

手術について

手術の日	年 月 日
アプローチ	<input type="checkbox"/> 開腹 <input type="checkbox"/> 腹腔鏡
術式	<input type="checkbox"/> 部分切除 <input type="checkbox"/> 幽門輪温存胃切除 <input type="checkbox"/> 幽門側胃切除 <input type="checkbox"/> 噴門側胃切除術 <input type="checkbox"/> 胃全摘
合併切除	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり ()
	

術後治療について

- 手術で病変部は全て切除されています。
- しかし、術後経過中に再発をきたすことがあります。再発は進行度（ステージ）が高いほど頻度が高くなりますのでステージによって、術後の検査の間隔や治療法が変わってきます。
- この冊子（地域連携パス）には、進行度に応じた術後検査や治療が要約して記載されています。
- パスとは連携を円滑に運用するための道具です。術後の患者さんは当院と連携病院・診療所と連携して治療を行います。このパスによって患者さんを中心に複数の医療機関によるチーム医療が実現でき、医療の向上が図られます。
- 術後に抗がん剤・CT・胃カメラ・採血・投薬の5項目を記載されたスケジュールにそって当院と連携病院・診療所で診察・検査していきます。
- 連携は地域連携室を中心に行われます。連携先は基本的には紹介していただいた病院・診療所になりますが、他を希望される方や紹介先がない方は地域連携室を通じて相談させていただきます。また病状に変化がみられた場合は、連携先の先生を通じて地域連携室にご連絡下さい。連携先から当院への円滑な受診が可能になっております。
- また連携先では胃癌術後のことのみならず他の疾患などの相談をしていただくことも可能です。お気軽に相談してみてください。

胃がんの進行度

病期の進行度は手術所見と切除された胃とリンパ節の病理結果から決定されます。

- あなたの結果は（分化・未分化）型
- 深達度（T1a・T1b・T2・T3・T4a・T4b）
- リンパ節転移（N0・N1・N2・N3）
- ステージ（IA・IB・IIA・IIB・IIIA・IIIB・IIIC）

治療法は以下のようになります。

ガイドラインで推奨される治療法

	N0	N1, N2, N3
T1a・T1b	手術のみ	手術のみ
T2	手術のみ	手術と抗がん剤
T3	手術のみ	手術と抗がん剤
T4a・T4b	手術と抗がん剤	手術と抗がん剤

術後治療・検査の要約

ステージⅠA

まず再発することはなく抗がん剤の必要はありません。
CTは年1回で5年間になります。

ステージⅠB

再発はほとんどなく抗がん剤の必要はありません。
CTは2年間は6ヶ月に1回、以後3年間は年1回になります。

ステージⅡ、Ⅲ

再発することがありますので1年間の経口抗がん剤治療が推奨されています。
CTは6ヶ月ごと5年間になります。

<注意>

- 術後の検査は胃がんの再発をできるだけ早く発見するための検査です。主には肺転移、肝転移、リンパ節転移、腹膜転移などの有無をチェックします。ただし腹膜転移などCTでは診断が難しい再発もあります。
- 胃カメラは残胃の再発チェックのため年一度は必要です。
- 5年以降は連携先で年一回の採血と診察が望ましいです。
- 胃全摘後の方は鉄剤、Vit B12の投与が望ましいとされています。
- 他の部位のがんなどを全て検査するものではありませんので、通常健康診断やがん検診も必ず受けてください。

ステージ I A

胃がん治療に関する連携計画書

術後 受診・検査は現在治療中の病気や体調により変化します。

	1-2週間	1-2ヶ月	3ヶ月	4ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	1年	1年3ヶ月	1年6ヶ月	1年9ヶ月
がんセンター	/		/		/		/		/	
診 察	●		●		●		●		●	
採 血	●		●		●		●		●	
C T							●			
エコー										
胃内視鏡							○			
かかりつけ医		/		/		/		/		/
診 察		●		●	△	●	△	●		●
採 血		●		●		●		●		●
エコー										
胃内視鏡							○			

※●は必須、○はどちらかの施設で実施する。△はできれば行ってください。

血液データー (病院でもらった血液検査プリントをご自身で書き写してご利用下さい)

	1-2週間	1-2ヶ月	3ヶ月	4ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	1年	1年3ヶ月	1年6ヶ月	1年9ヶ月
ヘモグロビン										
アルブミン										
コレステロール										
鉄										
カルシウム										

腫瘍マーカー 基準値 (病院) CEA: ng/ml, CA 19-9 ng/ml, CA 125 ng/ml

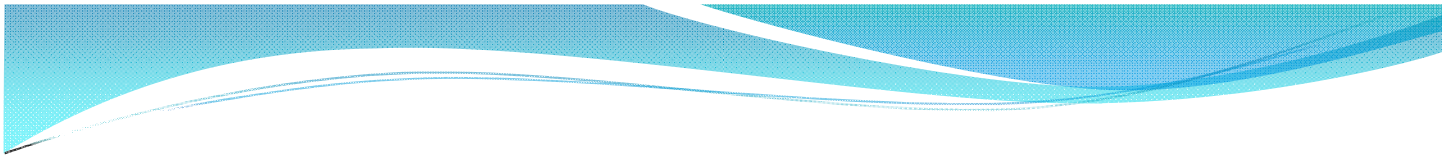
	1-2週間	1-2ヶ月	3ヶ月	4ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	1年	1年3ヶ月	1年6ヶ月	1年9ヶ月
CEA										
CA19-9										
CA125										

術後状態 (受診日前に状態をご自身でご記入ください)

術前 身長 cm、体重 kg

体重	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
食事量(1)	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D
食事回数	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日
便通(2)	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d
便回数	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日
症状など (3)	痛み	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4
	食欲不振	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4
	不眠	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4
	不安	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4
	気持ちのつらさ	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4
	その他									

- (1)食事量 A 前と同じくらい B 3分の2程度 C 半分程度 D 半分以下
 (2)便通 a 良好 b 便秘がち c よく下痢をする d 下痢、便秘を繰り返す
 (3)症状など 0 症状ない 1 現在の方法で満足 2 ひどくないが、方法があるなら教えてほしい
 3 我慢できないことがあり、対応してほしい 4 ずっと我慢できない状態が続いている



2年	2年6ヶ月	3年	3年6ヶ月	4年	4年6ヶ月	5年	6年	7年	8年	9年	10年
/		/		/		/					
●		●		●		●					
●		●		●		●					
●		●		●		●					
○		○		○		○					
	/		/		/						
△	●	△	●	△	●	△	●	●	●	●	●
	●		●		●		●	●	●	●	●
○		○		○		○	△	△	△	△	△

(かかりつけ医) CEA: ng/ml, CA19-9 ng/ml, CA125 ng/ml

kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D
回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日
a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d
回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日
0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4
0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4
0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4
0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4
0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4

腫瘍マーカーはCEA,CA19-9,CA125などから選択したものを測定します
 上記の受診日はおおまかなめやすです。定期受診日以外でも必要があれば診察します。
 また、症状に応じて、適宜血液検査・画像検査・その他の検査などを行います。

ステージ I B

胃がん治療に関する連携計画書

術後 受診・検査は現在治療中の病気や体調により変化します。

	1-2週間	1-2ヶ月	3ヶ月	4ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	1年	1年3ヶ月	1年6ヶ月	1年9ヶ月	2年
がんセンター	/		/		/		/		/		/
診 察	●		●		●		●		●		●
採 血	●		●		●		●		●		●
C T					○		●		○		●
エコー					○				○		
胃内視鏡							○				○
かかりつけ医		/		/		/		/		/	
診 察		●		●	△	●	△	●		●	△
採 血		●		●		●		●		●	
エコー					○				○		
胃内視鏡							○				○

※●は必須、○はどちらかの検査あるいは施設で実施する。△はできれば行ってください。

血液データ (病院でもらった血液検査プリントをご自身で書き写してご利用下さい)

ヘモグロビン											
アルブミン											
コレステロール											
鉄											
カルシウム											

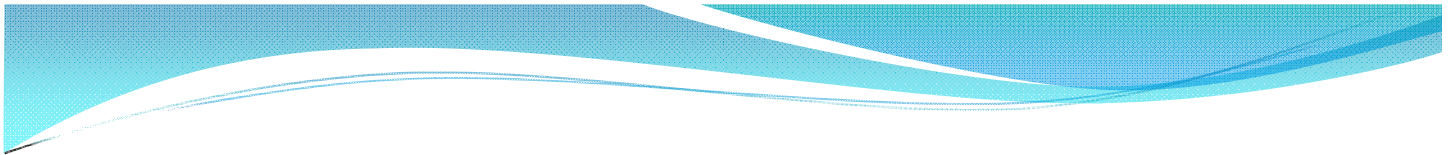
腫瘍マーカー 基準値 (病院) CEA: ng/ml, CA19-9 ng/ml, CA125 ng/ml

CEA											
CA19-9											
CA125											

術後状態 (受診日前に状態をご自身でご記入ください)

		術前						身長	cm	体重			kg
		kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
食事量(1)		A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D
食事回数		回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日
便通(2)		a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d
便回数		回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日
症状など (3)	痛み	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4
	食欲不振	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4
	不眠	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4
	不安	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4
	気持ちのつらさ	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4
	その他												

- (1)食事量 A 前と同じくらい B 3分の2程度 C 半分程度 D 半分以下
 (2)便通 a 良好 b 便秘がち c よく下痢をする d 下痢、便秘を繰り返す
 (3)症状など 0症状ない 1現在の方法で満足 2ひどくないが、方法があるなら教えてほしい
 3我慢できないことがあり、対応してほしい 4ずっと我慢できない状態が続いている



2年3ヶ月	2年6ヶ月	2年9ヶ月	3年	3年6ヶ月	4年	4年6ヶ月	5年	6年	7年	8年	9年	10年
	/		/		/		/					
	●		●		●		●					
	●		●		●		●					
	○		●		●		●					
	○											
			○		○		○					
/		/		/		/						
●		●	△	●	△	●	△	●	●	●	●	●
●		●		●		●		●	●	●	●	●
	○											
			○		○		○	△	△	△	△	△

(かかりつけ医) CEA: ng/ml, CA19-9 ng/ml, CA125 ng/ml

kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D
回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日
a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d
回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日
0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4
0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4
0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4
0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4
0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4

腫瘍マーカーはCEA,CA19-9,CA125などから選択したものを測定します
 上記の受診日はおおまかなめやすです。定期受診日以外でも必要があれば診察します。
 また、症状に応じて、適宜血液検査・画像検査・その他の検査などを行います。

ステージⅡ～Ⅲ

胃がん治療に関する連携計画書

術後 受診・検査は現在治療中の病気や体調により変化します。

1-2週間	1-2ヶ月	3ヶ月	4ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	1年	1年3ヶ月	1年6ヶ月	1年9ヶ月	2年
-------	-------	-----	-----	-----	-----	----	-------	-------	-------	----

抗がん剤治療

TS-1(80mg/100mg/120mg)										
UFT-E顆粒										

抗がん剤治療を行う患者さんは別メニューで経過観察

がんセンター	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
診察	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
採血	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
CT				○		●		○		●
エコー				○				○		
胃内視鏡						○				○
かかりつけ医	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
診察		●	●	△	●	△	●		●	△
採血		●	●	●	●	●	●		●	●
エコー				○				○		
胃内視鏡						○				○

※●は必須、○はどちらかの検査あるいは施設で実施する。△はできれば行ってください。

血液データ (病院でもらった血液検査プリントをご自身で書き写してご利用下さい)

ヘモグロビン										
アルブミン										
コレステロール										
鉄										
カルシウム										

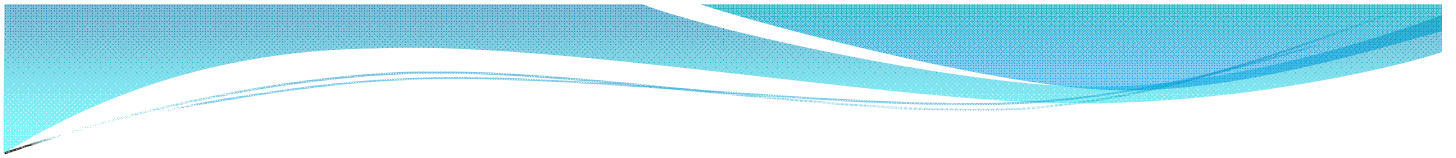
腫瘍マーカー 基準値 (病院) CEA: ng/ml, CA19-9 ng/ml, CA125 ng/ml

CEA										
CA19-9										
CA125										

術後状態 (受診日前に状態をご自身でご記入ください)

		術前						身長	cm		体重	kg	
体重		kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
食事量(1)		A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D
食事回数		回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日
便秘(2)		a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d
便回数		回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日
症状など (3)	痛み	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4
	食欲不振	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4
	不眠	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4
	不安	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4
	気持のつらさ	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4
その他													

- (1)食事量 A 前と同じくらい B 3分の2程度 C 半分程度 D 半分以下
- (2)便秘 a 良好 b 便秘がち c よく下痢をする d 下痢、便秘を繰り返す
- (3)症状など 0症状ない 1現在の方法で満足 2ひどくないが、方法があるなら教えてほしい 3我慢できないことがあり、対応してほしい 4ずっと我慢できない状態が続いている



2年3ヶ月	2年6ヶ月	2年9ヶ月	3年	3年6ヶ月	4年	4年6ヶ月	5年	6年	7年	8年	9年	10年

	/		/		/		/					
	●		●		●		●					
	●		●		●		●					
	○		●		●		●					
	○											
			○		○		○					
/		/		/		/						
●		●	△	●	△	●	△	●	●	●	●	●
●		●		●		●		●	●	●	●	●
	○											
			○		○		○	△	△	△	△	△

(かかりつけ医) CEA: ng/ml, CA19-9 ng/ml, CA125 ng/ml

kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D	A: B: C: D
回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日
a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d	a: b: c: d
回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日
0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4
0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4
0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4
0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4
0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4

外来日には、別途にお渡しましたティーエスワンくすりのしおり、服薬日誌を付けてお持ち下さい。
 腫瘍マーカーはCEA,CA19-9,CA125などから選択したものを測定します
 上記の受診日はおおまかなめやすです。定期受診日以外でも必要があれば診察します。
 また、症状に応じて、適宜血液検査・画像検査・その他の検査などを行います。

術後検査結果（CT）

検査時期	所見
術後 〇ヶ月	
術後 〇ヶ月	
術後 1年	
術後 1年6ヶ月	
術後 2年	
術後 2年6ヶ月	
術後 3年	
術後 3年6ヶ月	
術後 4年	
術後 4年6ヶ月	
術後 5年	

術後検査結果（胃内視鏡）

検査時期	所見
術後 1年 実施施設	
術後 2年 実施施設	
術後 3年 実施施設	
術後 4年 実施施設	
術後 5年 実施施設	

血液検査の説明

血液学検査WBC（白血球数）

身体の防御等に関係した血液中の細胞です。炎症性の病気などで増加し、抗癌剤で骨髄機能が障害されると低下します。

Hb（ヘモグロビン）

酸素を運びます。貧血の診断に用います。

Plat（血小板数）

出血を止める時に働きます。

生化学検査AST（GOT）

酵素の一種です。肝機能障害や心筋梗塞で上昇します。

ALT（GPT）

酵素の一種です。肝機能障害などで上昇します。

γ-GTP

酵素の一種です。肝機能障害、胆道の障害、過度の飲酒などで上昇します。

ALP

酵素の一種です。肝臓や胆道系の病変で上昇します。

T-Bil（総ビリルビン）

黄疸の指標です。肝疾患、溶血性貧血などで上昇します。

TP（総蛋白）

血清中の蛋白の総量です。肝臓病や栄養障害で低下します。

Alb（アルブミン）

蛋白質の一種です。肝臓病や栄養障害で減少します。

T-chol（脂質・代謝）

総コレステロール脂肪の一種です。栄養障害では低下します。

BUN（尿素窒素）、Cre（クレアチニン）

蛋白質の老廃物です。腎臓から尿中へ排出されるので腎臓機能の目安になります。

CRP

人体中に炎症が起こると増加する蛋白です。

腫瘍マーカーCEA、CA19-9、CA125

再発すると上昇することがあり再発の目安になります。

後遺症、合併症の説明

胃手術後の日常生活で気をつけていただきたいことや後遺症、合併症については以下のような種類があります。

腸閉塞

手術したあとは、ほとんどの場合、お腹の中で腸があちこちにくっつきます（癒着＝ゆちゃく）。その結果、腸が曲がったりせまくなることによって腸閉塞が起こることがあります。

〔 症 状 〕 一般的に悪心、嘔吐、排便・排ガスの停止、腹痛がみられます。時には、腸がねじれて穴が開いたりすることがあります。以上のような症状がありましたら連携医療機関を受診して下さい。

〔 治療法 〕 多くの場合絶食していると自然に治るのですが、時には手術が必要なことがあります。

ダンピング症候群

胃を切除すると食物が一度に急に腸へ流れ込みます。そのために起きる症状がダンピング症候群といわれるものです。食後30分以内に起こる場合（早期ダンピング症候群）と食後2～3時間で起こる場合（後期ダンピング症候群）があります。

〔 症 状 〕 食後に発汗、めまい、脈拍が上がるなどの全身症状と悪心、腹部膨満感、下痢などの消化器症状が出現、脱力感から気を失ってしまうこともあります。

〔 治療法 〕 早期ダンピング症候群：安静により多くは数分～数十分で改善します。後期ダンピング症候群：糖質の補給が必要になります。ブドウ糖の静注や、お菓子やあめ玉、氷砂糖をとったり、甘い飲み物を飲んで下さい。

予防するには、食後2時間あたりに何か間食をとることが有効です。

貧血

胃の切除により、鉄分やビタミンB12が吸収されにくくなるために貧血が起こります。治療法は、ビタミンB12の補充です。できれば総合ビタミン剤を服用してください。特に胃全摘術後の方は定期的な注射が理想です。

骨粗鬆症（こつそしょうしょう）

胃の手術をすると、カルシウムの吸収が悪くなるため骨のカルシウムが減少して骨が弱くなります。普段からカルシウムの補給には十分気を付けましょう。

逆流性食道炎

食道内へ胃の内容物や消化液が逆流することによっておこる食道の炎症です。

〔 症 状 〕 苦い水（腸液）や酸っぱい水（胃液）が口のほうへ上がってきたり、胸やけなどの症状が見られることがあります。

〔 治療法 〕 上半身を 20 度くらい高くして寝ることにより多くは防ぐことができますが、病状に応じてお薬が投与されることがあります。

小胃症状

胃を切除したために胃が小さくなることによって起こってくるすべての症状を小胃症状といいます。

〔 症 状 〕 食事が少ししか入らない、あるいは、すぐにお腹が一杯になるといった症状は最も一般的な症状です。

〔 治療法 〕 お腹を順応させてやることが大切になります。そのためには、食事のとり方が大切です。

胆嚢（たんのう）結石症

胃の手術の後には胆嚢の動きが悪くなり、あとで胆嚢に炎症を起こしたり、胆嚢内に結石ができることがあります。ほとんどの場合、放置しておいて差し支えありませんが、痛みなどの症状が出ると切除することがあります。



患者さん用メモ

年月日	連絡事項等あればご記入ください	医師・看護師の コメント

連携ノートの使い方

- 連携ノートには、以下の内容が綴られています。

1. 私の診療情報
2. 決定した連携医療機関の一覧と連絡先
3. 地域連携計画書（患者さん用連携パス）
 - ・ 5年～10年先までの診療の計画をたてたものです。
 - ・ 「いつ・どこを受診するのか」といった予定が一目でわかるほか、検査結果なども記入できるようになっています。
4. 自己チェックシート（任意）
 - ・ 患者さんの手術後の体の状態をチェックする用紙です。
5. おくすり手帳（任意）

- 患者さんの状態や思いは「連携ノート」を通して情報交換を行います。
- 連携ノートは、患者さんと医療機関が連携して患者さん中心の治療を切れ目なく続けるための貴重な資料です。
- 患者さんの個人情報が含まれますので、患者さんご自身でしっかりと管理していただく必要があります。

連携の総合的な情報

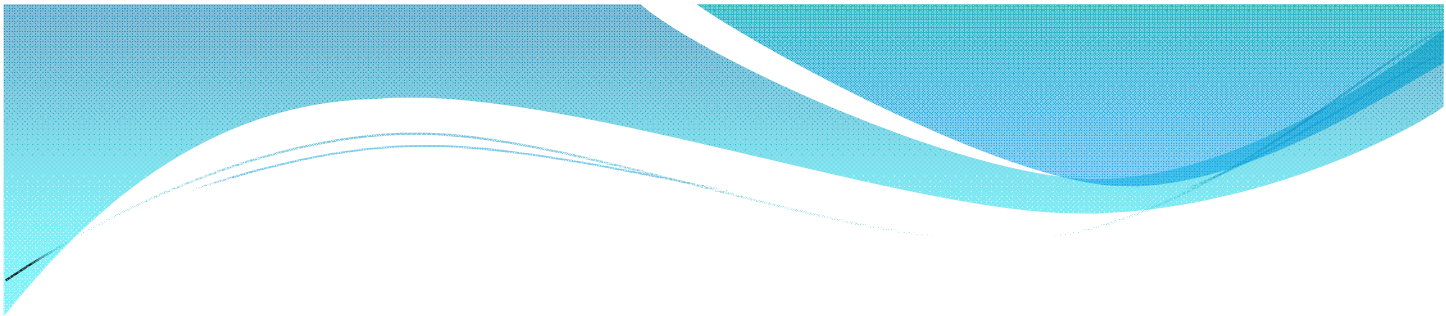
看護、介護、服薬の情報



日々の診察

節目の診察

* 医療機関を受診される際には忘れずお持ちください



ご心配な点があれば、まずはかかりつけ医（連携医）にご相談ください。かかりつけ医（連携医）から当院への円滑な受診が可能になっております。

かかりつけ医（連携医）

TEL：

連携病院

TEL：

兵庫県立がんセンター

TEL：078-929-1151

平日（8:45～17:30）：地域医療連携室

平日時間外（17:30～8:45）及び土、日、祝祭日：日直/夜間当直

兵庫県立がんセンターホームページ <http://www.hyogo-cc.jp/>